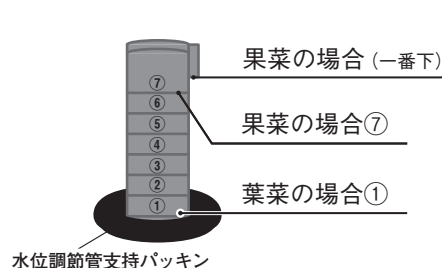


栽培スタートの方法

栽培については別冊「栽培のしおり」をよくお読みください

水位調節管の位置

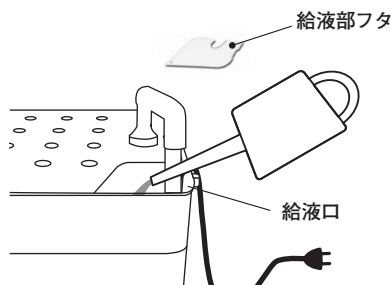
排液部フタを取り、水位調節管を上下に動かして栽培槽（根が張る場所）の水位を調整してください。水位調節管の一番下に見える数字が水位調節管支持パッキンの位置と合うように動かしてください。



	種植え時	1ヶ月後以降	③の水の投入量	最初の液肥の投入量
果菜類	⑦	一番下	15L	A・B液それぞれ 70ml
葉菜類	①	①	20L	A・B液それぞれ 80ml

栽培スタート時の給液

- ①給液部フタをはずし、液肥槽に 20ℓの水を入れる
- ②循環ポンプの電源コードをコンセントに差し栽培槽に水を送る
- ③さらに栽培植物に応じた下記の水と液肥を投入する



液肥水の作り方

最初の給液後は、ウキを見て液肥水が減った分補給します。水の量に応じた液体肥料 A・B をそれぞれ500倍に薄めて、液肥水を作ります。

【投入量早見表】

付属のピーカーをお使いください

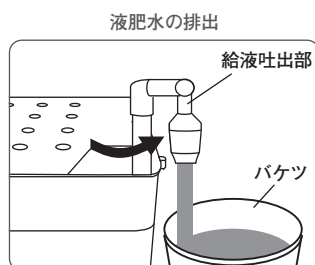
水の量	A 液	B 液
5L	10 ml 	10 ml
10L	20 ml 	20 ml
35L	70 ml 	70 ml

※原液だけで混ぜると化学反応で成分が結晶化してしまうので水の中へ原液を投入してください。

メンテナンス

栽培終了時の手順

- ① 循環ポンプの電源を抜き、野菜を撤去する
スポンジ培地ごと引き抜いてください。
- ② 液肥水の排出
右図のように給液吐出部を回転させてバケツ等の容器に入れて排水してください。ある程度液肥水が抜けたら循環ポンプを止めてください。排出した液肥水は土栽培や花壇の水やりに使えます。



- ③ 各部を水で清掃し、乾燥させる
循環ポンプは分解して掃除しましょう（インペラーユニット部）
- ④ 栽培しない場合は、直射日光、風雨の当たらない場所に保管する

循環ポンプの掃除



注意 循環ポンプの分解は、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。感電の危険性があります。



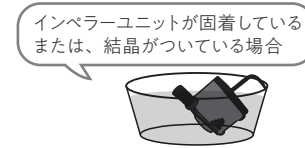
- 1 カバーをはずす
→ゴミがついていたら取り除きましょう！



- 2 キャップを回し外す



- 3 ピンセット等でインペラーユニットを取出す



市販の食酢に浸けて結晶化した肥料を溶かしましょう。本体を 30 分～1時間浸けた後、水洗いをして組み立てましょう。溶けない場合、さらに1晩つけてください。
※消耗品ですので、改善しない場合は新品をお買い求め下さい。

故障かなと思ったら…

こんな時	調べるところ	処理の仕方
液肥水を汲み上げない	給液吐出部が循環ポンプから外れていませんか？	給液吐出部を循環ポンプに接続しなおしてください。
	電源プラグがコンセントから外れていませんか？	電源プラグをきちんとコンセントに差し込んで下さい。
	循環ポンプの吸水部に根やゴミが詰まっていませんか？	電源プラグをコンセントから外し、「循環ポンプの掃除」を参考にし、ポンプの点検・掃除をしてください。
	循環ポンプのインペラーユニットに液肥が固着していませんか？	電源プラグをコンセントから外し、「循環ポンプの掃除」を参考にし、ポンプの点検・掃除をしてください。
許容量なのに水が漏れる	水位調節管に根が詰まっていませんか？	水位調節管から根を出してください。

お問い合わせはこちらまで 0800-888-8787



ホームページQRコード 検索 ホームハイポニカ



製造元 協和株式会社ハイポニカ事業本部 大阪府高槻市郡家新町 85 番 1 号

警告

循環ポンプ



必ず守る

- 電源は交流 100V のコンセントを使用する。火災、感電、けがの原因になります。
- 電源プラグの刃やコンセントの汚れ、ほこりは定期的に乾いた布で拭き取る。火災の原因になります。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。感電、ショート、発火の原因になります。
- 屋外で使用する場合、コンセント、延長コードは防水カバーのついた屋外用を使用する。火災、漏電の原因となります。



手ぬれ禁止

- 電源を入れたまま、液肥槽内に手を入れたり、循環ポンプに触れない。感電の原因になります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。感電、けがの原因になります。



分解禁止

- インペラーユニット以外の分解、修理、改造をしない。火災、感電、けがの原因になります。



液体肥料 混ぜない

- ハイポニカ液体肥料と石灰硫黄剤を混ぜない。有毒ガスが発生する恐れがあります。

注意



循環ポンプ 空回し禁止

- 空気中での空運転はしない。水中専用の循環ポンプの為、誤動作、故障の恐れがあります。



電源プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らず電源プラグを持って抜く。感電やショートによる火災の原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい時は使用しない。感電やショートによる火災の原因になります。



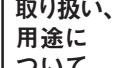
設置 室内栽培

- 室内に Sarah+ を設置する場合、床を保護するため Sarah+ の下に敷物を敷く。また液肥水がこぼれたらしっかり拭き取る。液肥水がこぼれたまま放置すると床材を傷める原因になります。



液体肥料 禁止

- A 液と B 液を原液のまま混ぜない。必要な肥料成分が結合して沈殿します。
- お子様の手の届く場所で保管しない。誤飲する恐れがあります。
- 直射日光や高温の場所で保管しない。成分が劣化または変性の恐れがあります。



取り扱い、用途について

- 突風が発生しやすい場所や、常に風が強く吹いている場所には設置しない。横転したり、落下して破損する恐れがあります。
- 高温になる場所に設置した場合、マルチパネルや給液部フタの上に長時間モノを置かない。マルチパネルや給液部フタが変形、破損する恐れがあります。
- 高温多湿のところに保管しない。変形したり、カビが発生する原因になります。
- 容量以上の水を入れない。水漏れの原因になります。
- 海外では使わない。国内専用品です。やけど、発火の原因になります。



禁止



その他注意事項

- 日光の当たり続ける場所に長期間置いた場合、紫外線により樹脂劣化し、表面に白い粉がふきだします。樹脂の劣化が進み、マルチパネルに穴があいたり、破損したらお取替えください。
- 日光により、栽培槽、マルチパネル等の色が黄変したり、変色します。
- 液肥水が日光に当たったままになると、水中に藻が発生しやすくなります。

取扱説明書

水耕栽培キット

ホームハイポニカ®



安全上のご注意 ※必ずお守りください

ご使用前にこの取扱説明書をよく読み正しくお使いください。※使う人や他の人への危害、財産の損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。「表示の説明」は、誤った取扱いをしたときに生じる危害、損害の程度の区分を説明しています。「図記号の説明」は、図記号の意味を示しています。

表示の説明



警告 死亡または重傷を負う可能性がある内容



注意 軽症を負うことや、家屋、家財などの損害が発生する内容

図記号の説明



中の絵と近くの文で、禁止（してはいけない事）を示す



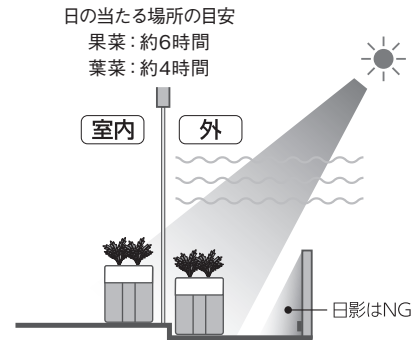
中の絵と近くの文で、指示（しなければならない事）を示す



中の絵と近くの文で、注意を示す

設置場所 条件

- ✓ 平らな場所
- ✓ 日の当たる場所
- ✓ 風通しの良い場所



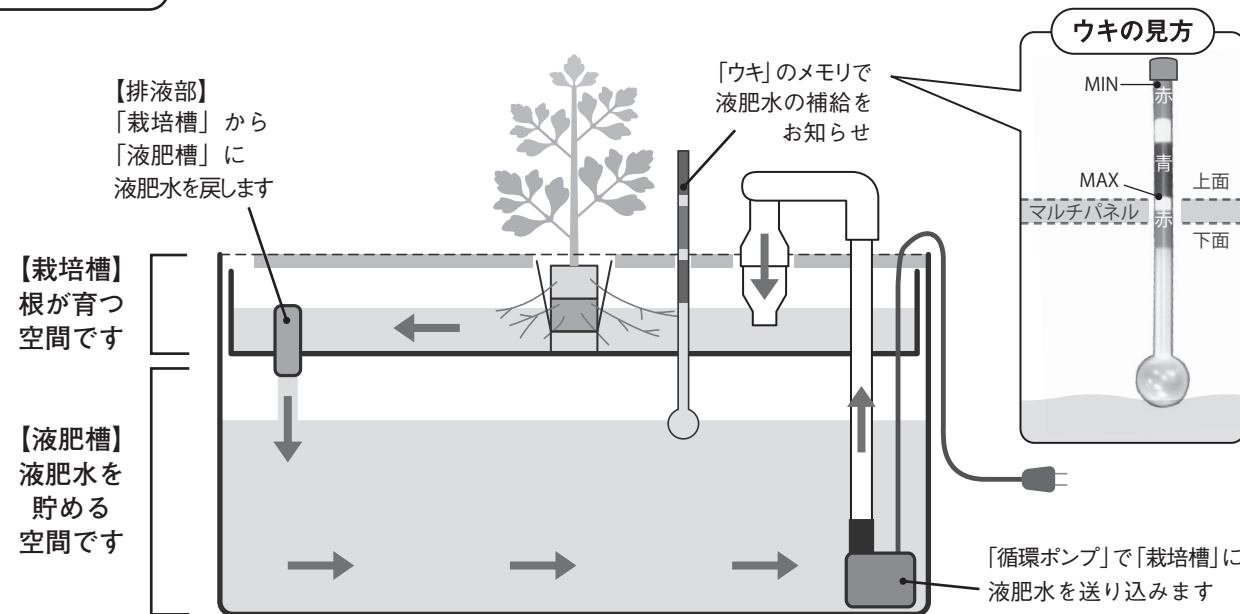
✓ お手入れしやすい場所

周りに物を置いたり、大きな障害物があると液肥水の補給をしにくい、収穫しにくい等栽培がしにくくなります。

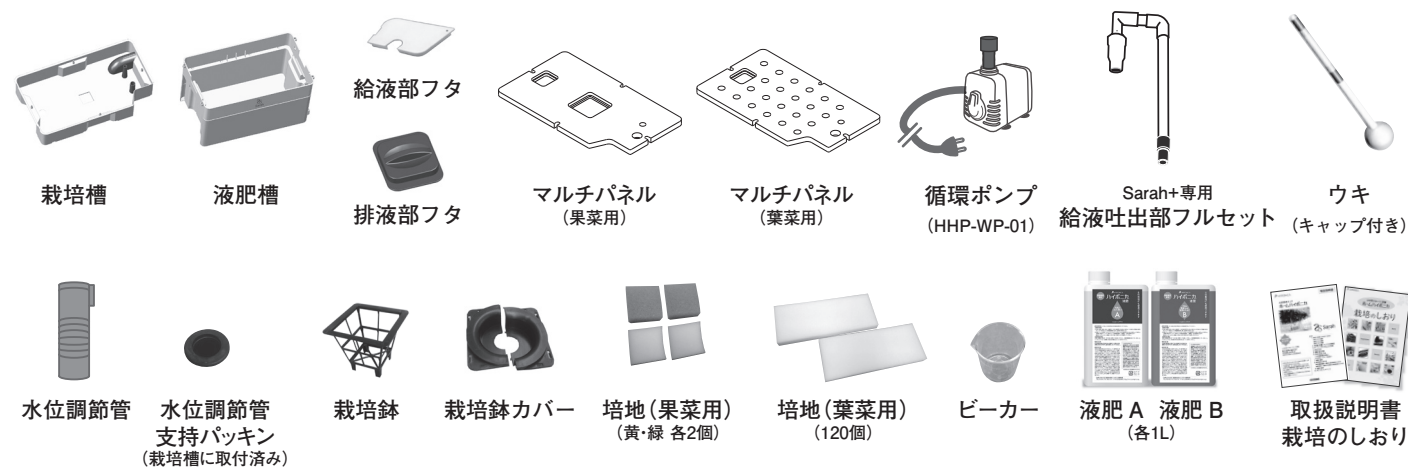
各部品の名称

こだわり設計の二層構造

循環ポンプで液肥水を循環させて、栽培槽に十分な肥料と空気を送り込みます



同梱物

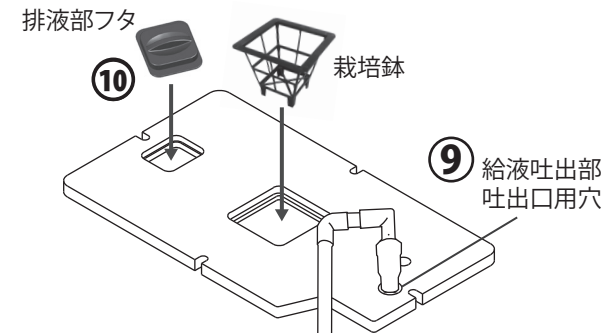


【仕様】

■電源/交流100V 50-60Hz ■消費電力/8W ■サイズ/約64cm×36cm×33cm ■容量/約35L (満水時40L) ■電源コード長さ/約4m ■材質/本体 ●給液吐出部フルセット: ポリプロピレン、ABS樹脂 ●循環ポンプ: ABS樹脂、ポリプロピレン、ステンレス鋼、磁石、ゴム ●栽培槽、液肥槽、給液部フタ、排水部フタ、栽培鉢、栽培鉢カバー、ウキ: ポリプロピレン ●水位調節管: ABS樹脂 ●マルチパネル (果菜用・葉菜用): スチロール樹脂 ●培地: ポリウレタン ●液体肥料: A・Bともラベルに記載

装置の組み立て手順

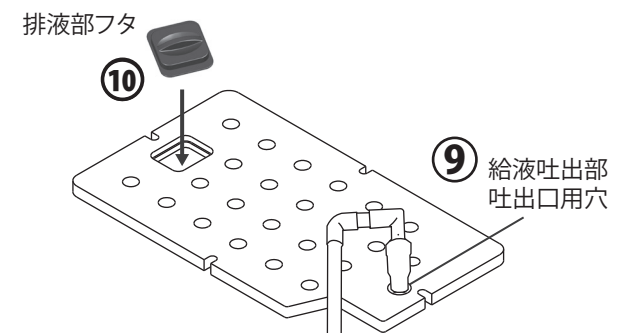
果菜類(実のなる野菜)の場合



マルチパネル(果菜用)

栽培する植物により
いずれかのマルチパネルをご使用ください

葉菜類(葉もの野菜)の場合



マルチパネル(葉菜用)

組立手順

- ① ウキのキャップをはずす
- ② ウキを栽培槽の下から差し込む
- ③ 差し込んだ状態でキャップをはめ込む
- ④ 栽培槽を液肥槽の上にのせる
- ⑤ 栽培槽に水位調節管をセットする
- ⑥ 循環ポンプと給液吐出部をつなぎ液肥槽にセットする。
- ⑦ 循環ポンプの電源コードを液肥槽のコード用ミゾから外に出す
- ⑧ 果菜用または葉菜用マルチパネルを栽培槽にセットする
- ⑨ 給液吐出部の吐出口をマルチパネルの吐出口用穴に入れる
- ⑩ マルチパネルに排水部フタをセットする
- ⑪ 給液部フタをセットする

栽培槽側面図(横から見た図)

